



預金通帳を作るには？

外国の実家にお金を
送りたいのですが...



公共料金、家賃、生活費など、お金の出し入れに欠かせないのが金融機関です。日本生活のスタートにまず必要なもの、それは金融機関の通帳です。作り方、送金方法を簡単に説明しましょう。

日本語ができない方、センターがお手伝いいたします。

預金通帳

初めて日本に来られた外国籍の方にとっては、なじみのある銀行でも少し緊張してしまいます。でも、手続きさえしっかり終えていれば、とても便利なところですよ。日常生活に便利な「普通預金口座」の作り方を考えて見ましょう。

【金融機関に出かける前に持っていくもの】

- 本人であることを確認できるもの（外国人登録証、運転免許証、パスポート、健康保険証など）と印鑑（簡単なものを作っておきます）を持って行きましょう。

【銀行や郵便局に着いたら】

- ① まずお住まいの近くにある金融機関（銀行や郵便局、信用金庫など）を確認しましょう。ここで大切なのは、その銀行や郵便局などの金融機関で海外送金ができるかできないかを確かめておくことです。無駄な費用をかけることにもなりますので注意してください。
- ② 手続き窓口に行く前に、発券機から受付番号カードをもらいます。
- ③ 店内の案内人に、新しく口座を開きたいということを言い、申込用紙をもらいます。
- ④ 申込用紙には、住所（電話番号も含む）・名前・職業内容・勤め先名（住所・電話番号も含む）・生年月日・性別・預金金額・キャッシュカードが必要か、必要でないか など太い枠で囲まれた部分がありますので、それぞれを書き込んでいきます。この申込用紙の各内容は、金融機関で多少の違いがあります。わからなければ、案内の人に聞きましょう。あるいは用紙をあらかじめ入手して、ふじみの国際交流センターなどで書き入れてもらってもよいでしょう。
- ⑤ 受付番号と扱う窓口が言われましたら、そこに行ってください。窓口では、書類と預金するお金を出します。係りの職員が口座開設に必要なことを聞き、書類を埋めていきます。言葉が分からないという方は、日本人を連れて行くことをお勧めいたします。
- ⑥ 受付が終われば、新しい口座の通帳ができます。キャッシュカードは、1週間から10日くらい後に郵便で届きますが、本人以外は受け取れませんので覚えて置いてください。

送金したいとき

お金を母国に送りたいときも、銀行や郵便局、信用金庫などを利用することになります。この場合、送金を依頼する銀行に送金の取引が有るか無いかもまず問題になります。

www.ficcc.jp/foreign/

● 「インフォメーションふじみの」のバックナンバーを見ることができます

